

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

リベラルアーツコース

対象入試	実技型入学試験、一般入学試験(後期のみ)
試験内容	構想リサーチ 多様なピースを組み合わせ、新しい関係性や意味を構築し表現する
試験説明	時 間 合計180分程度 構想・リサーチ(45分):ピースの観察・調査、持参物の整理。 制作・構成(105分):ピースの組み合わせ、配置、言語化(キャプション作成)。 振り返りの記述(30分):制作意図や思考プロセスの記述(ワークシート)。
	持 ち 物 筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、ボールペン) 自身の興味関心、視点を表すようなピース(身の回りの小物 など)※何点でも可 スマートフォン(ピースの背景を調べるリサーチ用として使用可)
	モチーフ・課題の公表内容 自身が持参した「ピース(興味関心を象徴するもの)」と、当日会場にある「多様なジャンル・時代のピース(写真、図版、小物など)」を自由に組み合わせ、そこに生まれる「新しい関係性」を表現してください。 【表現の方法】指定のトレイ(A3サイズ程度)内にピースを自由に配置し、視覚的に提示します。また、その組み合わせに独自の「タイトル」と、どのような新しい価値や意味が生まれたかの解説あるいは物語などを書きます。 ※試験時間内は、自身のスマートフォン等を使用した背景情報のリサーチを認めます。
	大学準備物 ・多様なピース(写真、古本、雑誌、小物 など) ・展示用台 ・解答用ワークシート(制作意図、リサーチ内容、自己評価を記入)
評価ポイント	この試験では、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点でつなぎ合わせ、新しい価値を見つけ出す「編集」の力を測ります。 具体的には、以下の5つの観点をもとに、探究心や新たな価値を創出するための基礎的な力があるかを総合的に評価します。 (1)知識・理解 既存の情報をそのまま受け取らず、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点でつなぎ合わせる「編集」の役割を理解し、多角的に捉えようとしているか。 (2)意欲・実行 アート、デザイン、音楽、マンガなど、自身の興味関心を起点に、対象の背後にある「意味」や「物語」を探索し、新たなつながりを見つけ出そうとしているか。 (3)思考・判断 単なる材料としてではなく、モノやコトの成り立ちに目を向け、自身の視点で新しい価値や意味を見出そうとしているか。 (4)技能・表現 選択した要素を論理的に構成し、「なぜこの組み合わせにしたのか」という理由を、説得力のある言葉で表現しようとしているか。 (5)コミュニケーション 「正解」を求めるのではなく、自分自身の言葉で「つながり」を定義し、自分の視点を他者に対して伝えようとする姿勢があるか。